

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高見 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

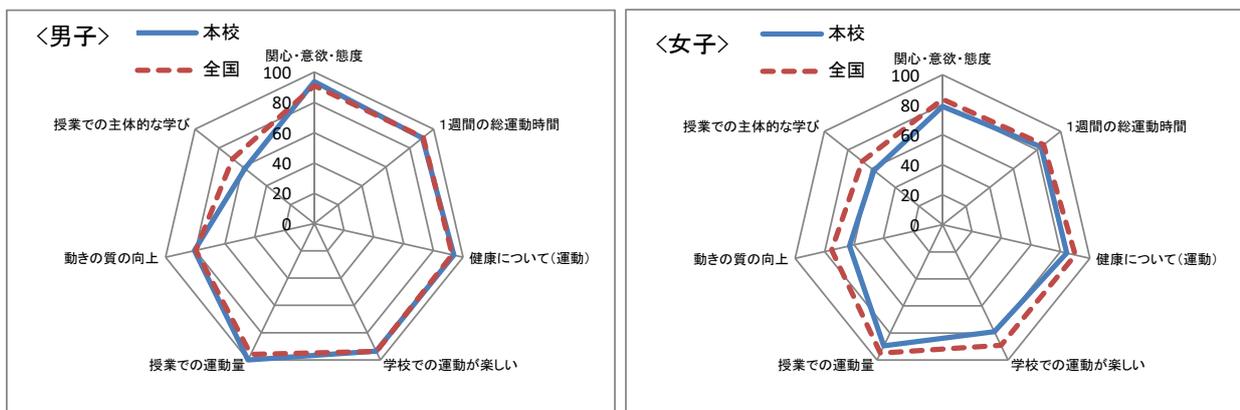
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子では1項目、女子ではすべての項目で全国平均を下回った。男子では体育科の授業に対して肯定的な回答が多い。男女とも「授業での主体的な学び」については、ともに大きく下回ることが課題である。感染症予防のため、継続した取組を行っていく、目標設定が難しかったことも影響していると考えられる。したがって、短期的な目標設定とその成果を実感ができるようにしていくことが必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

「授業での主体的な学び」を充実するために、各単元での児童の目標設定を具体的で明確なものにする。さらに、本校で取組を進めているICT機器を効果的に活用して、課題解決を図ったり、映像等で成果を記録したりし、目標の達成状況を可視化することで、児童が学習の成果を実感できるようにしていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

感染症の状況にもよるが、計画して実施できなかった朝の運動(たかみんタイム)を、感染予防を行いながら再開していく。特に、個人でできることを中心として課題設定し、毎週火・金曜日の朝学習の時間に、年間を通して、継続的に取り組めるようにしていく。